

ご意見の内容及びご意見に対するご回答

意見提出元：日本電気株式会社

No	該当箇所	ご意見の内容	ご回答
1	I-2 スマートメーター通信ネットワークに求める機能	<p>&lt;意見内容&gt;</p> <p>将来のスマートメーター通信ネットワークの用途拡大を考慮する場合、該当箇所に記載された機能を基本要件とし、加えて以下の要件を考慮すべきと考えます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 標準プラットフォームであること</li> <li>- 相互接続が容易であること</li> </ul> <p>&lt;理由&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- オープンな標準方式を採用することで国内外を問わず調達が可能となり長期安定運用が可能となります。</li> <li>- 独自技術から標準技術へのマイグレーション(変更)に伴う費用発生を回避できます。</li> <li>- 標準PFを用いることで、スマートメーター通信ネットワークを将来の新たなサービス創出に活用することが容易になると考えます。</li> <li>- 宅内通信機能(B ルート)は、IPに準拠することとされており、スマートメーター通信ネットワークもこれと整合性を持たせることが望ましいと考えます。</li> <li>- 第三者認定機関等による相互接続性の検証・認証が可能な方式を用いることで、マルチベンダ時の検証にかかる費用、期間の削減をはかることができます。</li> </ul>	<p>データフォーマットや通信手順に関する現行仕様については、弊社の運用ニーズに特化したものとしておりましたが、様々なメーカーの新規参入の促進による中長期的なコストダウンの観点から、標準規格への準拠を志向して検討いたします。</p> <p>また、ご意見のとおり、相互接続性を確保するための仕組み作りは重要と考えておりますので、通信方式の選定と合わせて検討してまいります。</p>

2	I-2 スマートメーター通信ネットワークに求める機能-	<p>&lt;意見内容&gt;  将来のスマートメーターネットワークの用途拡大を考慮する場合、該当箇所に記載された機能を基本要件とし、加えて以下を考慮すべきと考えます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 将来のサービス出現に備えた帯域の確保</li> <li>- 将来の新技术の導入を柔軟に受容できる方式</li> </ul> <p>&lt;理由&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 今後スマートメーターは最終的にはデマンドレスポンスの実現に貢献するもの、つまり一般需要家との需給調整インフラの中核と位置づけられるものとなると考えます。今後のサービスの出現を考慮し、より広帯域の通信方式を採用しておくことが望ましいと考えます。</li> <li>- 長期にわたるスマートメーター導入の過程で、さらにコスト効率的で性能のよい通信技術が出現する可能性は十分に考えられます。このような変化を柔軟に対応でき、スムーズな移行が可能な方式を採用すべきと考えます。</li> </ul>	<p>将来の導入が見込まれるサービスに対しては、遠隔ソフトウェア更新により適宜、機能を追加できる仕様とします。現時点で想定が困難なサービスに対しても、サービス仕様が明確になった時点で、Bルートの活用も含め、実現可能かつ合理的な範囲で柔軟に対応します。</p> <p>具体的なサービスとしては、「電力使用量の見える化サービス」、「ネガワットアグリゲーションビジネス」、「高齢者等の見守りサービス」、「節電サービス・省エネアドバイス」等を想定しております。</p>
3	Ⅲ-3 通信ユニット概要 スマートメーター装置構造	<p>&lt;意見内容&gt;  スマートメーターは通信部を分離した構造とすべきと考えます。</p> <p>&lt;理由&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 通信部を分離することで、メーターが置かれる通信環境、または、宅内通信機能(Bルート)の可否によって、搭載する通信種別を選択することが可能となり、効率的なスマートメーター展開が可能となると考えます。</li> <li>- 通信部、メーター部分で、技術革新のサイクルが異なると想定されるため、機能別に分離することで、メーターの交換コストの抑制につながると考えます。</li> </ul>	<p>計量部と通信部の一体化は部品点数の削減等により、コストダウンが期待できることから、将来的に一体型を含めてコストミニマムを追求して参ります。</p>
4	I-2 スマートメーター	<p>&lt;意見内容&gt;  TCO を考慮したスマートメーター通信ネットワークの構築に向けて、各通信方式において想</p>	<p>いただいたご意見については今後の通信方式選定時の参考にさせていただきます</p>

<p>通信ネットワークに求める機能</p> <p>⑤低コストで構築・維持できること</p>	<p>定される以下の費用項目を検討し、コスト効率性を評価すべきと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 初期費用:メーター部コスト/通信ユニットコスト/コンセントレータコスト/光網敷設コスト(各工事費含)</li> <li>- 運用費用:自営網管理費用/通信回線借用費用/個別検針費用/減価償却費</li> </ul> <p>&lt;理由&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- スマートメーターは膨大な数となり、長期にわたって展開されるため、初期コストのみでの比較ではコスト効率性についての公正な評価は行えないと考えます。</li> <li>- 各通信方式で想定される運用コストを明確化することにより、今後の RFP などの段階で、さらなるコスト効率化に向けた提案が期待できると考えます。</li> </ul>	<p>できます。通信方式の選定においては、コスト、技術の優位性、今後の普及や長期利用の見込み等の見極めが重要となるため、確立された標準規格の採用を原則として、今後、RFP と技術実証により詳細に評価する予定です。</p>
---	--	--